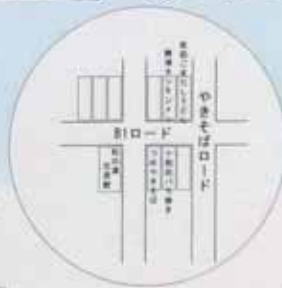


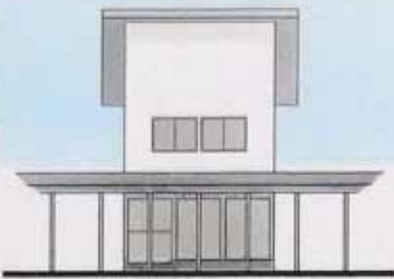
こみせ再生プロジェクトめざせ B-1グランプリ!!!



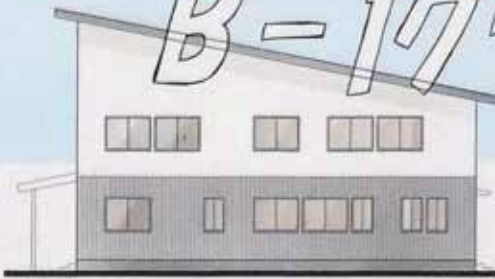
断面図 1/100



ショップガイド



南立面図 1/100



東立面図 1/100



西立面図 1/100

黒石市の概要

黒石市は青森県に隣接する人口約2万5千人の市である。中野もみじ山や遠藤石川などの自然やこけしなどの特産物、こみせ通りや温泉など観光スポットが多くある。またよき祭りやりんご祭りなどのイベントが行っていて、年間を通して観光客が訪れる。



こみせ通りの紹介

黒石こみせ通りは藩政時代から残るアーケードや伝統的建造物で有名である。江戸時代には商人街として栄え、湯治場、呉服屋、米屋などがあり、「こみせ通りでなんでもせろう」と言われていた。しかし今ではやめてしまった店も多く、人口も減り、観光客が来るものの、にぎわいがなくなってきた。黒石市はそのような現状を解決すべく空き家を使って、地域の拠点をつくるなどの取り組みをしている。



新・1階平面図 1/50

黒石つゆやきそばとは..

黒石つゆやきそばは、太い平麺が特徴の黒石やきそばにつゆをかけたものです。昭和30年代後半にうまれた「つゆそば」が近年、市内のいろいろなお店で作られるようになり、B-1グランプリにも出展しています。



命名 B-1 Road

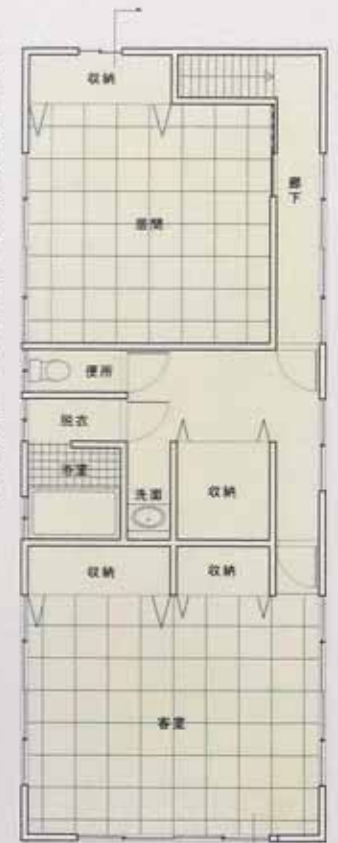
全国のB-1グランプリで人気を呼んだ名店をこの地に呼び、通りの活性化を目指す。



出店企画書

つゆやきそばと
1 経路特定型「B1A」

都立に住んでいたが、夫の定年退職を機に地元へ戻ってきた夫婦。これからは自分の故郷で趣味の散歩をするなど、のんびり過ごそうと思っていた。しかし、久しぶりに帰ってきた黒石市は寂れてしまっていた。人口は減少し、出かける時は隣の市へ行くため、商店も稀かす。道をたたくてしま。市は対策として、つゆやきそばをB-1グランプリに出展したり、先鋒湯を市民の交流の場にしたり、さまざまな活動をしているがあまり効果は見られない。このままでは観光客も減少してしまい、こみせ通りのアーケードや伝統的建造物ももたない。夫婦は黒石再生プロジェクトとして、観光スポットでもあるこみせ通りの空き家を譲り受け、民営食堂を経営する。そして、観光客や市民に黒石を好きになってもらうため、つゆやきそばなどの郷土料理を提供する。



新・2階平面図 1/50

B-1 Road ランキング

- 1位 黒石つゆやきそば
- 2位 棒湯タンメン
- 3位 十和田バラ焼き

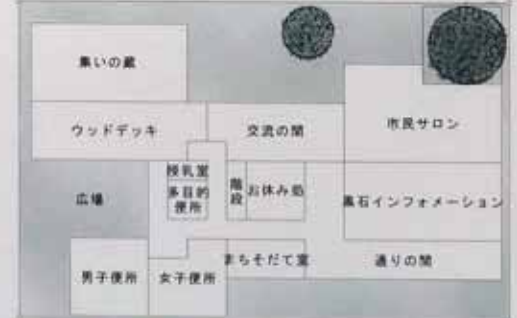
やきそばロード

- 横手やきそば
- 富士宮やきそば
- なみえやきそば



旧・1階平面図 1/100

松の湯交流館見取り図



松の湯の歴史

明治時代に創業
平成5年 銭湯としての営業を終了
平成25-26年 解体、保存工事
平成27年 松の湯交流館として開業



旧・2階平面図

私の提案!!

- ・観光の拠点
こみせ通りの空き家を改装し、つゆやきそば、棒湯タンメン、佐治ごまだしうどん、十和田ばら焼きなど全国のB-1グルメのお店を並べる。通りをB-1 Roadと名付け、伝統的建造物の観光と食事を楽しめるようにする。また交差する通りをやきそばロードとし、全国のやきそばが食べられるようにする。
- ・コミュニティの拠点
民営を1組限定にすることで、きちんとしたおもてなしができる。松の湯交流館とリンクさせ、観光客との距離が深めやすく、黒石のことを詳しく知ってもらえる。
- ・地域防災の拠点
空き家を活用しみんなで守るという意識を高め、災害を防ぐ、特に冬の雪による建物の倒壊を防ぐ。